

世界遺産検定
4級学習ツール⑧
2022.08

① 『平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群一』の平泉を築いたのは誰でしょうか。

(.....)

② 『平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群一』に関し、平泉をこの世の仏国土とするために、中心的な存在として建てられた寺院は何でしょうか。

(.....)

③ イランの『ペルシア庭園』に特徴的な、水路を用いて幾何学的に四分劃した庭園を何というでしょうか。

(.....)

④ 『日光の社寺』にある、徳川家康をまつる霊廟は何でしょうか。

(.....)

⑤ 『日光の社寺』などで見られる、日本固有の神道と大陸伝来の仏教が混ざり合った信仰形態を何というでしょうか。

(.....)

⑥ インドの『タージ・マハル』は誰のために築かれた霊廟でしょうか。

(.....)



4級学習ツール⑧ 解答 (2022.08)

① ふじわらのきよひら 藤原清衡

藤原清衡は、平安時代の後期に東北地方一帯を支配した奥州藤原氏の初代当主です。浄土思想（死後、阿弥陀仏のつくった西方極楽浄土で、仏として生まれ変わることができるという思想）に基づいて平泉を築きました。

② ちゅうそんじ 中尊寺

平泉に移った清衡が最初に建立した寺院が中尊寺です。中尊寺の金色堂には清衡、2代 もとひら 基衡、3代 ひでひら 秀衡 の遺体と4代 やすひら 泰衡 の しるし 首級（討ち取られた首）が納められています。

③ し ぶ てい えん 四分庭園（チャハル・バーク）

『ペルシア庭園』は、かつてペルシアで広く信仰されていたゾロアスター教で重視された「空」「大地」「水」「植物」の要素で構成され、特に「水」が重要とされました。四分庭園はインドやヨーロッパの庭園様式に影響を与えました。

④ とうしょうぐう 東照宮

徳川家康をまつため、1617年に僧の天海が築いた東照社が前身です。現在東照宮に見られる建物の大半が、3代将軍家光による「かんえい 寛永の だいぞうたい 大造替」の際に築かれたものです。

⑤ しんぶつしゅうごう 神仏習合

日光では、家康をまつる「東照宮」、山岳信仰の中心地である「ふたらさん 二荒山神社」、家光の霊廟がある「りんのおうじ 輪王寺」の二社一寺が世界遺産に含まれています。

⑥ ムムターズ・マハル

ムムターズ・マハルは、17世紀のムガル帝国皇帝シャー・ジャハーンのお妃です。王妃の死を悲しんだ皇帝は、世界各地から白大理石や宝石、職人を集め、贅の限りを尽く

した霊廟を築きました。庭園はペルシア式で、水路で四分割されています。